正誤表

本書中下記の誤りがありますので、お詫びして訂正いたします。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>頁・行</th>
<th>誤</th>
<th>正</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>37 頁表 4 右縦 3 段</td>
<td>…500 以上，かつ…</td>
<td>…550 以上，かつ…</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>90 頁 6 行</td>
<td>…平成 12 年建設省…</td>
<td>…平成 15 年国土交通省…</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>98 頁解説図 13.1 右上図</td>
<td>〔図修正〕</td>
<td>【別添図①のように修正】</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>109 頁本文下から 2 行</td>
<td>$A=195 \cdot 43 + \cdots = 209 \cdot 62 m^2$</td>
<td>$A=195.43 + \cdots = 209.62 m^2$</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>123 頁 7 行</td>
<td>できる。</td>
<td>できる（次頁（注）参照）。</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>123 頁 12 行</td>
<td>〔例図 10 のハッチ部分…</td>
<td>〔例図 9 のハッチ部分…</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>123 頁例図 9</td>
<td>〔図修正〕</td>
<td>【別添図②のように修正】</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>124 頁末尾</td>
<td></td>
<td>【別添文①を脚注として追加】</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>128 頁例図 12 の F1</td>
<td>〔図修正〕</td>
<td>【別添図③のように修正】</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>290 頁例表 14 最左列第 7 段</td>
<td>布基礎立上がり地上部の自重（kN）</td>
<td>布基礎立上がり地上部の自重（kN/m）</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>293 頁 2 行</td>
<td>…$X_1,Y_0,Y_2$通り…</td>
<td>…$X_1,Y_0,Y_2$通り…</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>298 頁例図 21</td>
<td>〔図修正〕</td>
<td>【別添図④のように修正】</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>141 頁解説文 5 行</td>
<td>…建設省告示第 463 号…</td>
<td>…平成 15 年国土交通省告示第 463 号…</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>305 頁解説文 4.1（注）(2) の 2 行</td>
<td>…とするが，面内…</td>
<td>…とするが，面外…</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>305 頁解説文 4.2（注）(2) の 2 行</td>
<td>…いるが，面内…</td>
<td>…いるが，面外…</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>328 頁解説文 2.1 第 5 列最下段</td>
<td>普通ブロック，防</td>
<td>普通ブロック，防</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>372 頁解説文 5.11 最右列第 1 段</td>
<td>平門柱</td>
<td>平門柱</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>390 頁解説図 7.1</td>
<td>〔図修正〕</td>
<td>【別添図⑤のように修正】</td>
</tr>
</tbody>
</table>
別添：訂正図版、追加文章

（1）別添図① （98 頁解説図 13.1 の右上部分の該当箇所にはめ込み）

（2）別添図②（123 頁例図 9）

（3）別添図③（128 頁例図 12）
（4）別添図④（298頁例図21）

例図21 基礎・基礎梁リスト

（5）別添図⑤（390頁例図17.1）

（6）別添文①（124頁末尾の脚注）

[注] 基礎の基礎スラブ幅下限値 $B_0$ の算出式の誘導

基礎単位長さ当たりの地下部分重量をサーチャージ重量を含め $p_{F2}$ とすると、前掲の記号を参照して、基礎スラブ幅下限値 $B_0$ は次式で示される。

$$B_0 = \frac{p_0 + p_{F2}}{f_e}$$

ここで、$p_{F2} = \gamma \cdot D_F \cdot B_0$

記号：$p_0$, $f_e$, $\gamma$, $D_F$ ･･前掲

$p_{F2}$ の式を上記 $B_0$ の式に代入して整理すると、以下の式が得られる。

$$B_0 = \frac{p_0}{f_e - \gamma \cdot D_F}$$

[以上]